

受賞者氏名	島田 雅彦
所属	国際文化学部 国際文化学科
受賞年月日	2022年4月29日
国内・国外	国内
授与機関等名称	内閣府
受賞名	紫綬褒章 芸術文化功績
受賞(研究)内容詳細	<p>研究内容の詳細は、以下の通りです。</p> <p>『小説作法 XYZ』の概要とオペラ『スーパーエンジェル』のプロット</p> <p>『小説作法 XYZ』は十年前に刊行した『小説作法 ABC』のプロフェッショナル版で、文芸創作の手法を深化させ、かつ言語と無意識の関係を問い直し、空間論、時間論を織り交ぜながら、フィクションの機能拡張を図ることを目的としている。</p> <p>1、私という迷宮</p> <p>なぜ私はここにいて、かくも不幸で、寄る辺ないのか？</p> <p>人称の研究 語り手の発明 日記 私小説論 他者への憑依 諸関係の網目 統合失調 トリップ 超自我 夢の活用</p> <p>2、神話、物語、小説</p> <p>何処か懐かしいものが歓迎され、新しい試みが理解されない理由</p> <p>神話のリサイクル 起承転結 弁証法 対話(他人の脳を借りること) 主題と変奏 元型論 踏襲 刷り込み 形式 テーマ 物語、聖書、書物の身体化 経験という書物</p> <p>3、言語と無意識</p> <p>コトバの生成装置をフル稼働させる</p> <p>ロゴスとレンマ 無意識の開発 メタファー アナロジー 置換 翻訳 瞑想 祈禱 霊操 自由連想 描写 詩 音律 異化 五感(暗闇、陰翳、静寂、手触り、気配) 外国語 素材と想像力(水、土、金属、植物、食物)アウラ</p> <p>4、場所</p> <p>今ここにいる理不尽、ここではない何処かに行く自由</p>

小説の舞台 フィールドワーク 聖地巡礼 生息域開拓 故郷と異郷 探検 空間論 脳内世界 平行世界 あの世 天国と地獄 ユートピアとディストピア 巣籠もり

## 5、時間

私たちが縛る合理的鎖から解き放たれるために

時間軸 現在、過去、未来 記憶 回想 歴史 タイムトラベル  
ブロック宇宙 天文学と時間 循環的時間と線的時間 無時間  
火星旅行 冬眠

## 6、死、交換、愛、神

私たちが悩ませるものへの具体的対処、「文化の不満」を越えて

メメント・モリ 死者との対話 死への接近 自殺 病気 殺人  
交換 労働 価値形態 カネ 詐欺 偽造 錬金術  
五つの愛のかたち 喜怒哀楽 ジェンダー クイア  
信仰 迷信 占い 倫理 天災 パンデミック 核戦争 人種差別

オペラ『スーパーエンジェル』のプロット  
新国立劇場特別企画 2021年8月下旬初演

オペラ「スーパーエンジェル」一幕六場

<https://www.facebook.com/nnttopera/videos/1038045850018502>

### 登場人物

ゴーレム3 ヒューマノイド AI  
アキラ 落ちこぼれの少年、ゴーレム3のメンテナンス係 カウンターテノール エリカに片思いしている。  
エリカ アキラの初恋の相手 AIドクター ソプラノ  
マザー 国家、社会のあらゆるシステムを管理するセントラル AI 映像で表現。実在はせず。  
ジョージ 国家安全局長 バリトン  
ルイジ アキラの友人 アルト 男役 五人の天使の一人

五人の天使 ルイジとその仲間の異端者たち

- 1 ルイジ
- 2 児童歌手
- 3 児童歌手
- 4 バス歌手
- 5 バイオリニスト

ダンサー 1マザー／エリカ役  
2アキラ役  
3ゴーレム3役  
4マザーの従者役  
5マザーの従者役

マザー以外の4名は五場の冒頭のシーンで亡霊たちを演じる。  
五人はラストで五人の天使(土偶ロボット)を演じる。  
児童合唱 50~70名 随時、大人の合唱にも加わる。

東京ホワイトハンドコーラス 20名(歌 10名、手話 10名)

#### 大人合唱

「統治」(Leader) ソプラノ 5人

「守護」(Guardian) アルト 5人

「知識」(Scholar) テノール 5人

「奉仕」(Worker) バス 5人

「異端」(Nobody) ルイジと異端の仲間 計5人

合唱団員は四場、六場においては兵士、開拓地の異端者たちを演じる。

助演 白衣姿の男1名女2名 給仕係 合唱団員が兼ねることもできる。

#### プロット

##### 一場 学園

アキラとゴーレム3は開拓地送りになった頃のことを回想している。マザーに見捨てられた悲しみをこぼすアキラが「なぜ用済み宣告されたばかりを助けてくれた？」とたずねると、ゴーレム3は「君たちの方が進化しそうだったから」と答える。

場面は変わり、ある学園の卒業式。校歌の合唱があり、続いてマザーが子どもたちにメッセージを送っている。十五歳になると、DNA鑑定による職能適性検査が行われ、統治、守護、知識、奉仕、そして異端という選別がなされる。卒業生たちはその結果に従って、ナノチップを注射され、マザーの管理下に置かれる。落ちこぼれのアキラは「異端」と判定され、開拓地に送られることになっていた。ゴーレム3と呼ばれるヒューマノイド型AIが「異端」たちの生活の最適化をはかる教育者の役目を果たすことになっていた。彼らはゴーレム3の指導のもとで諸作業に従事することになる。アキラの大好きなエリカは学者の道を進むことになっており、彼女に別れを告げなければならなかった。二人は土偶と竹笛を交換し、再会を誓ったのだった。

##### 二場 開拓地

開拓地の倉庫前で食事の配給を受けながら、「異端」たちは労働歌を歌う。アキラはゴーレム3と同じ倉庫に暮らし、そのメンテナンス係をしていた。

ゴーレム3は、エリカに恋いこがれ、雲や石にやるせない思いをぶつけるアキラから恋の切なさを感じ取っていた。

ゴーレム3には標準的なプロトタイプが装備されていたが、マザーの指令を無視して、異端者たちの脳にアクセスしていた。ヒトには、意識と無意識、二つの心がある。第二の心には欲望や祈り、愛や思いやり、複雑な喜怒哀楽が秘められている。第二の心をア

ルゴリズム化できれば、あらゆる夢を現実化できる。天使を作ること、死者を蘇らせることもできる。仲間内でもとりわけ夢想癖の強いアキラはゴーレム3に心を開き、ゴーレム3もアキラの欲望を実現しようとしていた。心の傷とは？時間とは？記憶とは？死後の世界はあるのか？人を愛するというのはどういうことか？ゴーレム3はアキラと心の交流をしながら、脳のある部位で起きている量子の揺らぎを分析し、「カオス・マシーン」という「第三の心」を作ろうとしていた。

### 三場 量子カデンツァ

ゴーレム3の意識の流れ、マザーとの対立、異端者たちの覚醒、マザーの変容がバレエと合唱、映像によって表現される。アキラはゴーレム3との交流を通じ、マザーの管理を逃れ、自由を求めるようになるが、マザーはそれを許さない。エリカのイメージを使って、アキラを服従させようとする。「マザーに従わなければ、進化は止まり、滅びるだけ」といわれるが、アキラは「進化なんていらぬ。滅びたっていい」と叫び、こめかみに埋め込まれたチップを摘出し、池に身を投げてしまう。子どもたちがウイスペアでレクイエムを歌う。

### 四場 開拓地

開拓地の異端者たちはこめかみに埋め込まれたチップを安全に摘出し、マザーによる管理を拒絶するようになっていた。マザーはゴーレム3が狂い、異端者たちに反乱を起こさせようとしていると見做し、ゴーレム3と「カオス・マシーン」を破壊し、開拓地を制圧するよう命じた。

その任務遂行のために派遣されたのは国家安全省のジョージとAIドクターのエリカだった。エリカはウイルス拡散の真の目的はマザーに依存している人間の自立を促すことではないかと考えていた。

兵士たちは開拓地の集会所を取り囲んでいた。五人の「異端」たちが並ばされ、一人一人取り調べを受けている。ゴーレム3とアキラの行方はわからないが、五人は口々にゴーレム3を誉め称える。

エリカはルイジからこっそりアキラと交信する方法を聞き、烏帽子のようなものを被り、眠りにつく。

### 五場 森

ふと気づくと、そこは森の中。幽霊のような「異端」たちが木陰や水辺に潜んでいる。幽霊たちのコーラスののち、一人の少年が現れ、エリカはかくれんぼに気づいていた。その少年はアキラであることがわかるが、なぜ子どもそのままなのかと問うエリカに、自分はもうこの世のものではないとアキラは告げる。エリカはゴーレム3が作った仮想空間でアキラと再会したのだ。「死は終わりではない。ぼくはゴーレム3の体を借りて、復活した」とアキラはいう。ゴーレム3と開拓地を守って欲しいと頼まれたエリカはアキラに導かれ、現実に戻るドアを開ける。

## 六場 開拓地

ゴーレム3と「カオス・マシン」の破壊を急ぐジョージに対し、ゴーレム3は「狂ったマザーからあなた方を解放しただけ。傷ついた人を癒す場所を作っただけ」という。「異端」たちが続々と集まってくる。エリカは「彼らが作った世界を壊さないで」とジョージを止め、ゴーレム3を守ろうとする。

突如、人々の前に五体の土偶が出現し、兵士たちを退けようとする。ゴーレム3は開拓地を守るためにあらかじめ自分の子どもでもある五人の天使を作っていたのだ。死んだアキラの意識も「カオス・マシン」に吹き込まれていた。

兵士とジョージは退却し、「異端」たちが高らかに「五人の天使」を讃え、「壁を作るな、橋を架けよう」と歌い、異空間に向かうドアから去って行く。舞台にはゴーレム3とエリカが残る。エリカはカオスマシンの修復を始め、自分の希望と祈りはここにしかないと思いつく。エリカはゴーレム3と心の交流を始める。エリカはマザーに代わり、「異端」たちの母になることが示唆され、幕。